

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜県立中津高等学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和3年6月24日(木) 15:45～16:55
- 3 開催場所 岐阜県立中津高等学校 大会議室
- 4 参加者

会 長	田島 雅子	中津川市教育委員
副会長	糸魚川 謙一	元全日制PTA会長
委 員	楯 明夫	中津川市立第二中学校校長
	西尾 晃司	定時制同窓会長
	深津 広樹	中津川市役所 定住推進部市民協働課 次長兼課長
	古井 淳子	全日制PTA副会長
	松下 嘉広	一般財団法人ヒガシミノ団地代表理事
	水野 賢一	同窓会長・中津川市議会議員
	宮良 淳子	中京学院大学教授
	吉村あづさ	図書館ボランティア養成コーディネーター
学 校 側	森井 静子	校長
	今井 雅人	副校長
	谷口 典子	事務部長
	渡邊 卓哉	教頭

5 会議の概要（協議事項）

○学校運営協議会について説明後、会長・副会長を選出

○令和3年度学校経営計画、グラデュエーション・ポリシーについて協議。

（1）学校経営計画（マニフェスト）について

意見1：全日制、定時制ともに、先生方には十分生徒を見ていただいている。昨年度を引き継いだ教育活動である。

意見2：学校経営計画がとても丁寧に明確に示されており、よいと思う。

意見3：長年、定時制には関わっている。太鼓の取組等、ひとつのことをやり遂げること
で生徒は大変成長している。先生方の「寄り添い度」が高い。

（2）グラデュエーション・ポリシー（育てたい生徒像）について

意見1：中津高校がどういう方向に向かうのか、はっきり示した方がよい。生徒確保のための魅力が必要である。

⇒ 具体的な教育活動については、他県の公立高校の例のようにグランドデザインで詳しく示すことになる。「育てたい生徒像」が決定し、そこからカリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーを策定する流れとなっている。

意見2：社会背景やその変化への分析をふまえた内容を盛り込んでどうか。

意見3：何のための、誰のためのスクール・ポリシーか。

⇒ 中学生が学校を選択する際の検討材料とすることができる。本来はスクール・ポリシーをもとにマニフェストでそれを具体化する。更にそれをもとに教科、課外活動等の具体的計画を策定することになる。したがって教員、生徒、保護者にとって教育活動、学習活動の目安となるものである。

意見4：定時制では不登校経験のある生徒が多いということで、生徒をよく見て、分析し、支える内容となっている。重点が「対自己」「対他者」「対社会」と分けられているのもよく考えられている。

意見5：定時制の生徒はどういう理由や目的で入学してくるのか。

⇒ 少人数ではあるが学力、経験、環境の面で多様な生徒が通っている。不登校や学力不振など様々な課題を抱えているが、アットホームな学校文化の中でアルバイトをしながら4年間通い続ける中で成長していく。自信を持って地元企業に就職したり大学に進学したりしている。

(3) 学校評価アンケートについて

意見1：生徒・保護者向けアンケートにはマニフェストやスクール・ポリシーについて評価する内容がないがどうか。

⇒ 教育目標に関する質問がある。今後拡充する。また、学校独自項目をはじめ個々の質問にはこれらの内容を具体的に盛り込んだものもある。

意見2：今年度の旭陵祭の開催についてはどうか。

⇒ 昨年度コロナのため開催を断念したが、来週の開催に向け準備している。非公開であるため保護者も入れないが、生徒たちが企画し、コロナ禍でもできる新たな取組にチャレンジしている。

6 会議のまとめ

- ・第1回学校運営協議会では、学校運営協議会の説明と学校経営計画及びスクール・ポリシーについて理解していただき、全委員より今年度の本校の学校経営計画について承認が得られた。
- ・生徒、保護者、学校評価アンケートについて、特に学校独自項目についても承認がえられた。7月にアンケート実施後集約し、第2回学校運営協議会の資料として事前送付することとした。
- ・スクール・ポリシーについては、今後本校の目指す生徒像・付けたい力（全日制）、育成を目指す子どもの姿（力）（定時制）などについて本校に対する期待やご意見等を第二回目の会議に向けて、寄せていただくよう依頼した。